

せい か しひょう
成果指標

しひょうないよう 指標内容	げんじょうち 現状値	もくひょうち ねんど 目標値(29年度)
かしょうきゅうきゅうあんしん へいせい (仮称)救急安心センターさつぼろ(平成 ねんどちゅうかいせつよてい しみん にんちど 25年度中開設予定)の市民の認知度	—	いじょう 50%以上
ちいき いりょうれんけい どうにゆう いりょう 地域医療連携パスを導入している医療 きかんすう 機関数	いりょうきかん 19医療機関 ねんど (23年度)	いりょうきかん いじょう 50医療機関以上
びょういん いりょうあんぜんなど かん かんじゃ 病院における医療安全等に関する患者 そうだんまどぐち せつちりつ 相談窓口の設置率	ねんど 93%(23年度)	いじょう 98%以上
かしょうきゅうきゅうあんしん うんえい (仮称)救急安心センターさつぼろの運営 いりょうかん れんけいじちたいすう など医療に関する連携自治体数	—	じちたい いじょう 8自治体以上

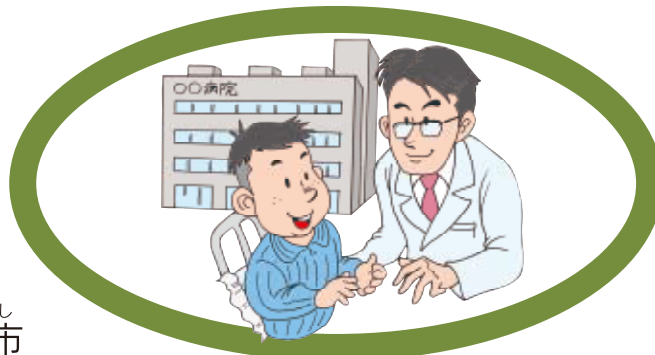
もと やくわり
求められる役割

いりょうきかん
医療機関

しんりょうじょ びょういん れんけい いりょう かいご
診療所と病院の連携、医療と介護の
れんけい しみん しつべい おう いりょう
連携など、市民の疾病に応じた医療
ていきょう いりょうれんけい
を提供することのできる医療連携シ
こうちく
ステムを構築します。

しみん
市民

みちか い い せうだんまどぐち
身近なかかりつけ医^{※4}や相談窓口な
とお しつべい しょうじょう おう
どを通して、疾病や症状などに応じ
てきせつ いりょうきかん りょう
た適切な医療機関を利用します。



さつぼろし
札幌市

いりょうきかん きやうどう いりょうれんけい こうちく すいしん
医療機関と協働で、医療連携システムの構築を推進します。
きゅうきゅう いりょう いりょうあんぜんなど そうだんまどぐち じゅうじつ きやうか
救急医療や医療安全等の相談窓口を充実・強化します。

※4…ひごろ かんじゃ たいしつ びょうれき けんこうじょうたい はあく しんりょう けんこうかん りじょう じやげん
日頃から患者の体質、病歴や健康状態を把握し、診療のほかに健康管理上の助言などもして
くれる身近な医師のことで、市民が主体的に決めていくことが求められます。病状に応じて
せんもんい しょうかい いりょうきのう しょうかい ふ わ おこな
専門医を紹介するなど医療機能の紹介・振り分けを行います。

